

# 厚生文教委員会報告書

令和2年6月19日

備前市議会議長 守井秀龍 殿

委員長 中西裕康

令和2年6月19日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	審査結果	少数意見
議案第55号 三石地区公民館・出張所外整備工事の請負契約締結について	原案可決	なし

### <所管事務調査>

- 教育用タブレットの使用状況について
- G I G Aスクール構想整備概要について
- 中学校でのパソコンの使用について
- 中学校統廃合について
- Z o o mの使用について
- プログラミング教育について
- 伊里小学校プール改修について
- 夜間学び直し事業について
- まなび塾について
- 学校体育施設開放事業について
- 熱中症対策について
- 保育士の確保について

### <報告事項>

- 中学校統廃合について（教育振興課）



《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第55号の審査	2
報告事項	3
所管事務調査	4
閉会	26



## 厚生文教委員会記録

招集日時	令和2年6月19日（金）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会	～	午前11時45分 閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第5回定例会）の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	星野和也		立川 茂
		森本洋子		青山孝樹
		藪内 靖		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍		
傍聴者	議員	掛谷 繁	石原和人	
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
説明員	教育長	奥田泰彦	教育部長	田原義大
	教育振興課長	大岩伸喜	学校教育課長	岩井典昭
	幼児教育課長	波多野靖成	文化振興課長	畑下昌代
	社会教育課長	竹林幸作		
審査記録	次のとおり			

## 午前9時30分 開会

○中西委員長 おはようございます。

ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

まず初めに、本日子定しておりました大内保育園への視察ですが、悪天候でもあり、警報等も考えられますことから、念のため次回の委員会へと延期をさせていただきたいと思っております。

さて、本日は構成がえ後、初めての委員会ですので、委員より自己紹介を願います。

まず、私のほうから、厚生文教委員長を務めさせていただきます中西でございます。よろしくお願いいたします。

○西上副委員長 おはようございます。副委員長を務めさせていただきます西上です。よろしくお願いいたします。

○星野委員 厚生文教委員の星野です。よろしくお願いいたします。

○青山委員 おはようございます。委員の青山です。よろしくお願いいたします。

○立川委員 おはようございます。厚生文教委員になりました立川です。よろしくお願いいたします。

○森本委員 おはようございます。森本です。

○藪内委員 おはようございます。新しく厚生文教委員になりました藪内です。よろしくお願いいたします。

○中西委員長 それでは、教育部関係の議案審査、所管事務調査を行います。

所管事務調査に先立ち、執行部からの報告事項をお受けいたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

### \*\*\*\*\* 議案第55号の審査 \*\*\*\*\*

教育部関係、議案第55号三石地区公民館・出張所外整備工事の請負契約締結について、追加議案書の1ページをお開きください。

質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○立川委員 「外」という工事がつくんですが、主体工事とそれから整備工事ですね。多分解体等も含まれているんじゃないかなと思うんですが、その内訳がわかりましたら教えてください。

○竹林社会教育課長 今回のこちらの工事につきましては、機能面としましては公民館、それから出張所、現在あります消防機庫も含めて整備を予定しております。工事の内容につきましては、建築工事、電気・機械設備、外構工事、それに先立ちまして解体工事の予定をしております。

概算になりますけど、工種ごとということで、建築工事がおおむね1億2,400万円、それから電気設備が3,400万円弱、機械設備が2,670万円程度、それから外構工事が71

0万円です。解体工事が2,080万円程度。そちらが直工での金額になりますので、こちらに共通費がかかってきまして、請負金額というような内容になっております。

○立川委員 ありがとうございます。概算ということで、契約するのに概算なのかなという気はするんですが、まあまあそんなところかなと思います。

この解体でちょっとお聞きしたいんですが、2,080万円という概算のお話を今お聞きをしました。これ済みません、今出張所本体、別棟、それから公民館のほうは公民館全部なんですか。地区の懇談会では、古い公民館部分はいいけども、比較的新しい10年ぐらいのところと、それからお話が出たと思うんですが、トイレ等はやめとけというのに何百万円もかけて改修して1年ぐらい。それも取り壊すのか、そこら辺ちょっと教えてください。

○竹林社会教育課長 今回の解体工事につきましては、既存出張所の敷地内の建物ということになります。

○立川委員 じゃあ、公民館の取り壊しはまた後という考えでよろしいでしょうか。

○竹林社会教育課長 はい、別途で次年度以降予定していきたいと思います。

○森本委員 解体に伴って、旧庁舎でもアスベストの問題が出たんですけど、こちらのほうは大丈夫なんですか。

○竹林社会教育課長 こちらにつきましては、設計時におきまして既存図面、それから現況調査を行いまして、吹きつけ等が懸念される箇所4カ所について調査、分析を行っております。結果、その点につきましては含有はなしということでの結果となっております。

○中西委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終結してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第55号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第55号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第55号の審査を終わります。

それでは、審議中途でございますが、暫時休憩したいと思います。

午前9時37分 休憩

午前9時44分 再開

○中西委員長 再開いたします。

\*\*\*\*\* 報告事項 \*\*\*\*\*

所管事務調査に先立ち、執行部からの報告事項をお受けいたします。

○大岩教育振興課長 中学校の統廃合についてであります、A4判1枚で中学校統廃合経過ということでお手元に配付させていただいております。

前回5月20日の厚生文教委員会報告以後の経過を報告させていただきます。

5月20日に三石小学校PTA役員8名の方と懇談いたしました。前回の3月27日から話し合いができていませんでしたので、その日以降の吉永小・中学校PTAとの懇談会の状況、三石中学校PTA役員、三石認定こども園保護者役員の懇談の状況、伊里地区の状況について説明いたしました。

今後の進め方、保護者への説明会の実施について協議いたしました結果、統合準備委員会の立ち上げについて、教育委員会でこうしますと宣言してやってくれたらいいのではないかという意見もいただきました。そのため、今後準備委員会の立ち上げに賛同していただくため、5月末から6月中旬にかけて、少人数での地区別での保護者懇談会の日程をPTAのほうで調整していただき、4回のうち3回を終えております。統合に反対している保護者の意見も聞きながら、統合準備委員会で協議できる意見も聞き取りたいと考えております。

今後の進め方についてでございますが、教育委員会といたしましては、教育委員会会議で実施計画を正式な計画として承認していただき、その後、三石小・中学校PTA役員、吉永小・中学校PTA役員、学校関係者、地区関係者と統合準備委員会を組織し、委員の人選、協議内容の決定をしていきたいと考えております。

○中西委員長 報告が終わりました。

それでは、報告に対する質疑は、所管事務調査の中で行いたいと思います。

\*\*\*\*\* 所管事務調査 \*\*\*\*\*

続きまして、所管事務調査を行います。

○大岩教育振興課長 教育用タブレットの使用状況についてであります、西上委員の資料要求によりまして、お手元にお配りさせていただいております。

前回、平成28年3月10日の予算決算審査委員会では、重点実践校の伊部小学校と吉永小学校のデータをお出ししておりますが、今回は全小・中学校のものを前回と同じ手法、同じ時期のデータとして作成しております。

表の見方でございますが、児童・生徒に配付しているタブレットで通常の授業で使用されている授業支援ソフトスキメニューのサーバーへのログイン総回数を3カ月間とり、3で割り、1カ月当たりの回数に置きかえたものを児童・生徒数で割り、1人当たりの1カ月当たりの平均使用日数を出しています。例えば西鶴山小学校の6年生では、1カ月当たりの授業日数を20日とした場合、6.5日使用したということになります。

ただし、この数字にはタブレットをオフラインで使用した場合、例えばカメラ、動画の撮影等は使用回数には含まれておりません。

続きまして、GIGAスクール構想整備概要について御報告させていただきます。



お手元の資料、A4判1枚と図面A3判1枚をお配りさせていただいております。

総事業費は3億6,601万9,000円で、財源内訳は、国庫補助金1億3,073万6,000円、新型コロナウイルス感染症対応地上創生臨時交付金1億2,786万5,000円、学校施設等整備事業債6,580万円、まちづくり応援基金繰入金4,161万8,000円となっております。

整備内容についてでございますが、校内ネットワーク更新事業ということで、校内LAN無線アクセスポイントスイッチ、ハブ等をGIGA仕様へ更新設定するものです。その設定費用も含まれております。

ネットワークの更新事業の基本的な一般的な配線図面は、西鶴山小学校の図面として参考までにお出しさせていただいております。

続きまして、学習用タブレット整備事業といたしまして、生徒用タブレット端末、補助金額1台4万5,000円、数量2,000台を予定しております。全児童・生徒対応としております。

続きまして、教職員用端末といたしまして350台、事業費7,577万3,000円となっております。

続きまして、タブレット収納庫、補助率2分の1で事業費775万5,000円となっております。

続きまして、遠隔授業用機器ということで、ヘッドマイク64セット、タブレット固定三脚48脚、事業費58万8,000円となっております。補助額は2分の1でございます。

続きまして、通信用機器利用料ということで、オンライン授業に伴うインターネット未整備家庭、小学校6年生と中学校3年生へのモバイルルーターを貸出事業といたしまして、45台分の休業時9カ月分を見込みまして355万7,000円を計上させていただいております。

導入スケジュールといたしましては、今回の補正予算を可決していただいた後、7月末の入札、財産取得の議決をいただいた後、校内ネットワークの更新、タブレット端末の購入、設定を行った後、来年4月からの導入を予定しております。

**○中西委員長** 続いて、この議会への投書の中学校でのパソコンの使用についても、ここでもうお話を伺いしとってよろしいですか。

**○大岩教育振興課長** 資料にございますけども、小学校と比べて中学校の1人当たりの平均使用回数ということで、中学校のほうも学校のクラス数とかによっては違いがあるんですけど、基本的に中学校の場合、講義形式の授業ということで、グループであるとかというところでなかなか使用するような場面が、先生によってもそれは授業改善でやっていただいている先生も当然あると思うんですけど、これからのGIGAスクール構想につきましても、全国で中学校もタブレットが配付されていくわけでございますから、備前市におられる先生方も、今後は全国的にも使っていくということになっておりますので、今後研修等をさらに情報部会とかでしていただいて、

授業改善、効率的な授業に向けて、中学校の先生にも効率的な使用をお願いしたいと考えております。

○中西委員長 それでは、質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○星野委員 中学校の統廃合の経過についてなんですが、緊急事態宣言の対象区域が全国に拡大したのが4月16日で、岡山県を含む39県で解除されたのが5月14日だったと思うんですが、その間に3回会合を持たれていますよね。特に、この資料を見ますと、4月17日には常任委員約18名、あと教育委員会の方が何名入るのかわからないんですが、こういう会合を持つことってというのは問題はないのでしょうか。

○大岩教育振興課長 密閉空間、密集、密接ということ考えながら、窓をあけて、席を離しながら、アルコール消毒を入室前にはさせていただきまして、会議を開かさせていただきました。

○星野委員 他の学校では、例えばPTAの会合とかってというのは、この期間行ってないと思うんですよ。違う期間に行うことに延期したりしているんじゃないかと思うんですが、そのあたり延期っていうことは考えられなかったのでしょうか。

○大岩教育振興課長 52世帯配布で49世帯回収の賛成25票、反対24票というアンケート調査の結果をいただいておりますので、そのことについてお話しさせていただきたいということで、1回、3月27日に会議を持たさせていただきました。その後の話し合いの中で、コロナの関係で会合自体が人数制限も学校のほうはしていたんでしょうけど、そのことについては密閉空間を排除しながら会議のほうはさせていただきました。問題はなかったと考えております。

○星野委員 常任委員18名と、教育委員会の方を入れたら何人での会議になったのでしょうか。

○大岩教育振興課長 教育委員会4名です。

○中西委員長 ほかにこの中学校の統廃合について何か質疑を希望される方、いかがですか。

○青山委員 先ほど三石でのアンケートを受けて、25対24ですか、ほぼ拮抗しているということで、その辺の分析をされての会議であったとお聞きしたんですけど、その会議を受けて、どういふふうな意見とか結果になったんですか。

○大岩教育振興課長 4回予定している会議の3回が今終わっているんですけど、その主な反対派の意見といたしましては、やはり最初の4校統合案から2校になぜなったのかというところと、やり方に対しての不信感。新聞報道が先に出たであるとか、そういった最初のところに思われている保護者の方の意見と、あと、この準備委員会の立ち上げをここでした場合、計画ではあと1年6カ月ぐらいしか統合まででないんで、その時期的なものが短いのではないかというような前向きな発言もいただいております。そういったところが主な意見でございます。

○青山委員 ということは、反対の方も大方納得されたというふうに見られとんですか。

○大岩教育振興課長 このアンケートは、三石小学校の保護者の方にとっているアンケートでございまして、三石中学校あるいは三石認定こども園の保護者の方に懇談した場合には、そういっ

た大きな反対の意見はございませんでした。ただ、今の小学校の保護者の方の意見をよく聞いてくださいというような御意見をいただいております。

ですから、小学校の反対派の方のその反対の内容については、統合準備委員会で不信感を持たれるところが、例えば新しい中学校をつくっていくんだというような、三石中学校が全くなくなるんではないというようなもとの話を進めていけば、その反対の方の人数も減っていくんではないかというような考えではおります。

**○青山委員** ということは、反対の方も含めて、もう一度全体での説明ということはまだされていないということですか。

**○大岩教育振興課長** 全体での説明は、今のところ考えておりません。この4回の意見交換会を含めまして、そのことをまたPTAのほうには伝えて、資料としてもお出しして、統合準備委員会に協力してくださいという形をお願いには参ろうかとは思っております。

**○青山委員** では、反対の方がある程度の納得というんですかね、説明をして、そこでまた新たに反対の意見が出たとか出なかったとかというふうなところは、もうPTAに任されるということですか。

**○大岩教育振興課長** 100%全員が賛成というのはまずあり得ないと思いますので、その中の何割が賛成ということもなかなか言えないんですけども、統合には賛成であるということは意見の中で把握しておりますので、ただその組み合わせであるとかやり方についての反対意見の方なので、その辺についてはなかなか理解がいただけないところもあるんですけども、今の三石中学校の状況を見た場合、やはり統合は避けては通れないと考えておりますので、統合準備委員会を立ち上げて前に進めていきたいとは考えております。

**○青山委員** 新しい中学校をつくられるというふうなことで、納得がいただけるんじゃないかというふうなこともあったんですけど、吉永中学校のその辺の受けとめというのはどうですか。

**○大岩教育振興課長** 吉永小・中学校のPTA役員の方と懇談させていただきました。結果はどうなるかわかりませんが、小学校のPTA役員の懇談会の中では、校名であるとか、制服であるとか、校歌であるとか、協議の場には前向きに上げていただくというような感じではお話しさせていただきました。

あと、中学校の保護者にも、三国、神根の統合を経験されている保護者もおられますので、その方たちは統合についてある程度三石の方の気持ちもわかるということで、新しい中学校をつくっていくということでは前向きな発言はいただいております。

**○星野委員** 伊里中学校区についてですが、先日の西上議員の一般質問への答弁で教育委員会としての対応としましては、実施計画案には日生中、伊里中、吉永中については、現在の学校運営を継続すると明記していることから、伊里中学校区の保護者の中学校再編に対するある程度の方角性、意見がまとまれば、要望として受け取り、今回の2校統合案とは切り離して検討しますと答弁されているんですが、ここで言う切り離してというのは、3月の委員会ですかね、区切りを

つけてというのと同じ意味だと言われたんですが、ここで先日の答弁の切り離してというのは、区切りをつけてという意味なんですか。

○**奥田教育長** 西上議員の一般質問に、今星野委員が言われたとおりの答弁をさせていただきました。切り離してとか区切りをつけて、意味合いでとり方によっていろいろあるかと思うんですが、教育委員会としては、今吉永中と三石中の統合ということで実施計画案を提示して、いろんな意見をいただいていると。その計画案の是非を問うということで、今いろいろ懇談会等も開いて前に進めていこうとしております。

実施計画案の中に、日生中、伊里中、吉永中は、現在の学校運営を継続するというのを計画の中に入れておりますので、この「案」が取れて成案になった場合に、そのとおりにさせていただくという意味で、この実施計画が前に進んだ場合、吉永中と三石中の統合ということで統合準備委員会を設立して、前へ統合に向けて進めていくわけなので、今のところ具体的な伊里地区の要望というのはお聞きしておりませんので、この今の実施計画とは切り離してというか、一旦この計画に区切りをつけてというか、どういう言い方がふさわしいのかちょっとわかりませんが、その後、そういった伊里地区の、日生地区からも出てくるかもしれませんので、いろんな地区からの要望が出てきた場合、対応させていただくという意味合いでございます。

○**星野委員** ちょっと辞書を調べてみますと、切り離すっていうのは断絶、断ち切る、一緒だったものを切って別ものに分けることというふうに書かれています。区切りがつくというのは、終息、幕引き、物事の切れ目、一段落つくというふうになっているんですが、これを同じ意味ととるというのは、ちょっと強引というか、違うんじゃないでしょうか。

○**奥田教育長** 日本語の勉強をなかなか勉強不足で、今星野委員が言われた国語の辞書からすると、切り離してというより、区切りをつけてというのがふさわしいかもしれません。

○**星野委員** 辞書によればそういうふうになっていますし、保護者に説明するのにしても、教育長は教員だったんで、教えていた小学生、中学生にも自信を持って説明するには、やっぱり言葉の意味をしっかりと捉えて、切り離すと区切りがつくっていうのはこれだけの差があるんで、そのあたり使う言葉は選んでいただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○**奥田教育長** 公の場での発言というんか、一般質問での答弁等も含めて、言葉の意味合いをしっかりと吟味して回答していこうと思います。申しわけありませんでした。

○**星野委員** 大岩課長だと思んですが、伊里小学校の統廃合に関するアンケートの結果について、学校に聞きに行かれたというふうにはちょっとお聞きしているんですが、それは事実なんですか。

○**大岩教育振興課長** 聞きには行っておりません。

○**星野委員** 電話とかでの問い合わせもしてないですか。

○**大岩教育振興課長** 校長先生と立ち話の中で、その集計とかは出とんですかというのをお聞きしましたけども、その内容を詳しくはお聞きしておりません。

○星野委員 立ち話というふうに言われるんですが、その立ち話の際に、現在の5年生以下の進学先の調整とか保護者の意向などについて、校長先生と意見交換をされたんじゃないかと思うんですが、その内容というのは覚えてられますか。

○大岩教育振興課長 その5年生以下の話は、私のほうは記憶にございません。

○星野委員 記憶にないんでちょっとあれなんですけど、多分そこで話をされた伊里小学校の場合、5年生以下になりますと、大体30人以下、約20人ぐらいの1学年1学級の児童になります。そういうことから、30人なら30人がそのまま上の伊里中学校に行くんじゃないよ、私学に行く人もいるし、違う学校、例えば備前中に行く人もいるんで、この30人なら30人が行くと思ってもらっては困りますよというような話をしたように僕はお聞きしています。してないんじゃないんです。記憶にないなら、もうしょうがないです。

では、質問をかえます。

実施計画を今後教育委員会会議にかけるのは、いつごろを想定しているのでしょうか。

○大岩教育振興課長 6月の定例会が月曜日でございますので、その中では協議はさせていただこうかと考えております。

○森本委員 議員へ言っていく方が賛成か反対かによって、それぞれ考え方も受けとめ方も大分違って来ると考えているんですけど、私のほうには割と前向きに捉えている方からの声をよく聞くんですけども、できたらこのまま進めていってほしいという声を比較的聞く機会が多いです。

ただ、課長に1点お聞きしたいのは、反対されている小学生の父兄の方は、内容的に統廃合が反対なのか、それとも統廃合先が反対なのか、実質のところ何をもって反対とされているのかと。保護者の方が言われるのは、地域の方との説明会ってなったときに、何で統廃合が必要なんですかというそういう根本的な話から始まるので、なかなかお話を聞いていても前に進まない。多分その方は賛成だと思うんですけど、自分たちは前へ進めていってほしいんだけど、やっぱり地域の方が反対だということになったら、なかなか前へ話が進めることができないので、私たちとしてもジレンマを感じるみたいなこともお聞きしたりもしているんですけども、その点、反対されている保護者の方は、根本的に何を反対されているんですか。

○大岩教育振興課長 反対の方の意見の中で主なものは、やはり最初に4校統廃合ということで案をお出ししたときに、複数学級ができるということと、あと三石だけでなく、ほかの吉永中学校、日生中学校ということで、三石だけが吸収されるのではないというような考えがあると思います。その中で、日生、吉永地区で猛反対がありまして、その結果、教育委員会としてはその2校統合案という計画案を出したんですけども、そのまた直したところに対する教育委員会の押し切ってくれなかったというのもあると思うんですけど、それとやはり三石が吸収されてしまって何も残らないということで、そういったことで反対だというのが主な意見だとは思いますが。一番は、やはり複数学級が見込めない。だから、吉永に行っても、また将来的に再統合があるん

ではないかというような不安を持たれている保護者が反対派にはたくさんおられるということでございます。

**○森本委員** 反対の方はそういう御意見で、賛成の方の御意見を主に私はお伺いしたんですけど、やはり路線の問題とか、路線の問題が違ったら高校の進学先の問題も違って来たりするので、その点で三石の行きたい方は、たとえ複数学級にならなかったとしても、やはり吉永に行くっていう考え方としては賛成したいということもお話もされていたりしたんですけども、先ほども星野委員が言われたように、中学校をそれぞれ選ぶ権利があるので、行き先だけは、現状でも、昔から私立のほうへ行かれる方は行かれていたので、私はそこら辺は大きな問題とは考えてはないんですけども、ここで急に統廃合になったから、急に方向転換したいという方は私は少ないと思うんですけども、言われる保護者の方へは、やっぱりしっかりと説明をしていたらいい、地域の方にも納得していただけるような説明会をやっぱり持っていただきたいと。今後わかりませんが、一緒になって説明会をされた場合、やはり地域の方の声に押されて、自分たちの意見もなかなか言えないんだというお声も聞いたりしたんですけど、その点いかがですか。

**○大岩教育振興課長** まずは保護者の方の意見ということで、今保護者の方の意見をお聞きしております。その意見をもとに、区会のほうにもその結果を含めて報告はさせていただきたいなどは考えております。

**○西上副委員長** 今課長が吸収という言葉が使われましたけども、三石さんが吉永さんに吸収されるということでもとても不安があると思うんですね、吸収されるほうは。その対策というんか、子供たちをどういうふうにかわして行くかというのは、課長どうお考えでしょうか。

**○大岩教育振興課長** 統合前の前後1年間は加配措置ということで、子供たちの精神的なストレスを解消するような加配措置もございまして、あと、これは人事のことになるんでちょっとわかりませんが、三石中学校におられる先生も、何人かは吉永中学校のほうに配属になるとはお聞きしております。そういったところで心のケアのほうはさせていただけるのかなとは考えております。

**○西上副委員長** そうですね、そういうふうにご心配の事を一番に考えていただきまして、私も合併じゃないんですけども、東鶴山小学校から備前中に上がったときには、非常に小さい学校から大きい学校に行くというところで、物すごく不安がありました。今から考えりゃあ、今の言葉を使えば中1ギャップという言葉かなと思うんですけども、そのようなことがないように、子供の事を一番に考えてしていただきたいと思います。お願いします。

**○奥田教育長** 貴重な御意見ありがとうございます。今大岩課長も申し上げましたが、今教員の配置の面で、こちらでもできるだけ県と交渉して、できるだけ三石の子供たちが不安を払拭できるような形にしていきたいと。

それから、子供の立場でいうと、小学校時代から、例えば吉永小と三石小で何らかの交流をしていたり、それから中学校でも中学校同士と一緒に交流できる行事が多分あると思うので、それ

とか、それから地域の方が心配されている、統合すると地域の行事が廃れるんじゃないか、中学校とかかわりはどうなるんだというような心配も聞いておりますので、その地域行事をどうしていくかということについても、統合準備委員会で議題として話し合っていきたいと思います。教員人事の関係、それから子供同士の交流の関係、それからPTA同士の交流等について、統合準備委員会でしっかり話をして、できるだけ不安の解消に、スムーズに進学できるようにしていきたいと思います。ありがとうございます。

○中西委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、議事を進めさせていただきます。また質疑がありましたら、また隨時していただければ結構です。

教育用のタブレットの利用状況について。

○西上副委員長 資料をありがとうございます。これを見たら、1人当たりの平均使用日数が学校により、クラスにより異なっているというか、差がすごくあるんですけども、これはどのようにお考えでしょうか。

○大岩教育振興課長 学年、学校によって相関性は全くない資料でございますけども、先生の授業に対するタブレットの使用の考えというのが出ているのかなと。ただ、これはサーバーへのアクセスの回数でありますので、サーバーにアクセスしないで使用している場合もあるんで、これは最低の使用状況ということで考えていただければと思います。

○西上副委員長 それについて、教育委員会から何か指導とかそういうのは何もないんですか。

○大岩教育振興課長 特に私どものほうでは指導はしてございませんけども、学校教育課のほうの先生方の情報部会ということで、タブレットの研修、授業改善については、情報交換はされてはおられるということでお聞きしております。

○立川委員 済みません、今お話お聞かせいただいて、大変ちょっともやもやしたものがございました。

タブレット授業について、一般質問でも私申し上げましたけど、幾ら費用がかかったかわかりますよね。タブレットの使用頻度を今上げました。おっしゃるとおり、先生の意欲差といいますか、興味のある先生、その他でこういう数字が出ていると。こういう分析、問題点を出していくのが教育委員会さんじゃないかなと思うんですが、今お聞きすると、詳細は下請で情報部会へ回しました、これで済まされるんですかね。

申し上げましたけど、5億円も6億円も直接費用をかけて、間接費用をかけるとかなり費用を出しておられる。よく部長がおっしゃっていましたが、プラン・ドゥー・チェック。今この表を出しました。じゃあこれのチェックした問題点はこうでしたというのを期待しているんですが、全くそういうのも考えられない。これ、五、六年にわたってこういうタブレットをやりましょうということをやりました。優位性だけが残って、自己満足だけが残った事業でしたという結末を大

変残念に思うんですけど。

皆さんかわられたから、私は知りませんということかもわかりませんが、これって一般企業なら降格とか減俸の対象ですよ。10億円近いお金を使って何にも残りませんでした。今回GIGAスクールということで、国からタブレット更新の費用が出ましたね。よかったですね。この更新がなかったらどうされる予定やったんでしょかと思われるんですけども。

いいですか。本当に検証してくださいよ。問題点あるじゃないですか。先生の意欲差、おわかりになっているはずですよ。教育長もこの前答弁されていました。この機器の性能が悪いんです、今回の構想に太刀打ちできないんです。こんなこと最初からわかっていることじゃないですか。では、その問題はどういうふうに議論されたんでしょか。これに対する教育委員会さんの姿勢、非常に私、残念かなという思いでいっぱいなんですけど。

まずこのタブレットを導入されたときに、どういう効果を狙われてしたのか思い出していただきたいと思います。部長、どういう目的でされたんですか。

**○田原教育部長** これからの時代に必要なICTの整備ということで、子供たちの教育に生かしていくということで整備いたしております。

立川委員が言われるとおおり、もっと活用をすべきという話、理解しております。今後、そういった中でも、最初取り組んだときも、なかなか教員がICTそのものに触れてないという中で、押しつけるというようなやり方は難しいというような形で、最初は教育委員会主導で研修等をずっと続けておりましたが、その後、情報部会というところでみずからが活用について考えながらやっていくような形で進んでおります。今後はこちらの情報部会等と連絡を密にしながら、子供たちの教育に生かしていくということを大前提に、もっと有効に活用していただけるように連絡を密にしていきたいと思います。

**○立川委員** いや、私は導入時の目的をお尋ねしたわけで、活用してくれたら一番いいんですけど、そういう活用できない問題点というのはつかんでいたはずじゃないですか。当初私も行かせてもらいましたけど、今おっしゃるように、市内の小・中学校の先生方がみんな来られて研修会やりましたよね。当然差がありますよ。何回かすれば、そういう差がわかるじゃないですか。興味ある先生は前のほうで頑張っている、まあ、もうええかと思う先生は後ろのほうで、おまえどないやったんやというお話をされておられる。温度差ははっきりされていたと。そういう問題点を捉えて、なぜ改善の方向を考えていただけなかったのかというのが残念なんです。

先般も委員会お聞きしておりましたら、何でこれコロナが始まってでけへんのや、いや、ルーターがないんです、環境がないんです。できないことはよくおっしゃるんです。できないことが問題点なんですから、それを何とか改善しようという動きをなぜされないのかな、非常に残念でたまらないんですが。

ばらばらになってもしょうがないんで、問題点をどのように把握して、例の産官学共同というようなことで1億円予算つけました。ベネッセさんが入って。あれの事業の総括は委員会のほう



に報告されましたでしょうか、いかがでしょうか。

**○大岩教育振興課長** ベネッセとの5年間の実践研究ということで、来年度が最後の年になると思うんですけども、5年間をしてきたことを検証しながら、今後のことには活用していくということで、今見直しというんですか、その検証は行っているところでございます。委員会のほうにはその都度、サタスタであるとかベネッセの教材であるとか、そういったところの報告は、予算のときには必ずするようにはさせていただいております。

**○立川委員** いや、スケジュールじゃなくて、どういう報告をされたのかということをお尋ねしたんですが、5年間の計画でしたら、5年後にやりますではないでしょう。恐らく問題がその途中でも発生してきているんで、中間報告であったりとか、という姿勢を私はお願いをしようわけなんですが、いかがですか。

**○大岩教育振興課長** ベネッセからも、年度末には必ずその1年間の結果ということで報告をいただいておりますので、そういったところでは改善は年度年度させていただいているところでございます。ただ、最近サタスタであるとか、学力調査のほうもこのコロナ禍の影響で中止になっておりますし、そういったところで例えばICT支援員のほうにもっと人材を割くであるとか、そういったところも見据えながら今のところは考えているところでございます。

**○立川委員** 問題出てるじゃないですか。SEさんをふやそう、支援員さんをふやそうということじゃないですか。でしょう。なぜそれを実践されないんですか。それで、保護者から見たらちょっと心もとないようなお話で、あれも本来なら教育委員会が行くべきでしょうけど、教育委員会さんのほうでは本会議答弁と同じような答弁されるでしょうから、議会のほうに来たのかなという気はしたんですけど。だから、皆さん期待しているんですよ。

今公会計でいろいろやっていますけども、行政コストの計算書という概念、考え方がありません。子供さん1人に幾らかかったんでしょうか。その効果は幾らでしょうか。もう非常にその辺になってくると頭ひねらなしょうがないんですけど、どうなんですか。ICTついていけるんですか。今度の国のGIGAスクール構想、備前市できませんとってお返しするんですか。チェックはどうなっとなんですか。その次のアクションですね、非常に心もとないんですが。

本当にこのまま部長、また情報部会とやらに下請して、そのままされるつもりでしょうか。教育委員会さんの中では取り組んでいこうという意識はありますか。

**○田原教育部長** GIGAスクール構想は国の示した構想で、今度の中央教育審議会でも、情報活用能力を子供たちにつけさせていくのは、次の世の中を主体的に考えながらつくっていくというような子供たちの育成には、ぜひ必要だということによっております。

そういった中で、教員のスキルの違いによって子供たちの教育に格差が出るといったことは避けなければならないと考えておりますので、積極的な活用をしていただけるように、情報部会とも連携を密にしながら、押しつけるという形ではなくて、みずから教員が使うというような主体的なところに持っていけるように、教育委員会としてもせっかく整備したものを有効に生かせる

ように取り組んでまいりたいと考えております。

**○立川委員** お礼を言おうと思ひよったんです。一般質問でロードマップをお願いしたら出てきておったんですけど、これ電気屋さんの見積もりかいなと思って。機器のことしか書かれていなくて、お礼言うのをやめたんです。

私はあの場でも申し上げたんですが、これを活用していく方法ですね、例えばちらっとおっしゃっていましたが、7月に職員研修するんです。例えば全体的に全校一斉でやるんです、いや、その前にモデル授業をやるんです、アプリはS k y p e使いましょうか、Z o o m使いましょうかといった研修、ここからじゃあスタートしますよというのが私はイメージとして期待しておったんで、残念ながらありがとうございましたというのはちょっと言いそびれたんですけど、それは出るんですか、出ないんでしょうか。

**○大岩教育振興課長** そういった計画は、今持ち合わせておりません。ただ、G I G Aスクールの機器導入につきましては、先生方とその都度、どういった機種、どういったソフトがいいかというのは常々お話しさせていただいて、機器の購入についてずっとお話しさせていただいております。

**○立川委員** だから、それを活用する方法が今まで教育委員会さんにちょっと欠けていましたよと、なおかつ機械だけでいかれるんですか。

それじゃあ、1点聞きましょうか。この前教育長がおっしゃっていましたが、Z o o mで伊里中が生徒総会やりましたということでおっしゃいましたね。取り上げていただきました。Z o o mの使用方法是何か検討されたんですか。Z o o mにはちょっと何か落とし穴があるというのは御存じでしょうけど、どういう対応をしてZ o o mを使われたんでしょうか。

**○大岩教育振興課長** Z o o mの使用については、私どもも先生を交えて実証実験、モニタリング調査をしております。例えば市のサーバー経由で4時半ぐらいに使った場合は、市のは60メガバイトなんですけど、15校で1回使ったときで40メガの容量を使っていました。通信が途切れたり、音声の不鮮明なところがありましたんで、やはりサーバー経由では通信量に負担があるということは、ボトルネックになっているということで、インターネットの出入り口でふぐあいがあると。ふぐあいというんですか、たくさん使用には耐えられないということは、ある程度は考えております。

そこで、昨年度サーバーを更新したばかりなので、あと5年ぐらいはこれを使っていくことになるんですけども、ただW i - F i ルーターのほうを学校のほうにオンライン使用でないパソコンを使用して、そのZ o o mはできるということで、今進めているところでございます。

そういったところも研究しながら今進めております。

**○立川委員** 私が聞いたのは、電気屋さんの答弁ではなくて、中身で、Z o o mにセキュリティーの問題があるというのは御存じでしょうね。御存じないですか。

**○大岩教育振興課長** ちょっと私、そのところは存じません。

**○立川委員** 新聞記事が4月10日ごろに出とんですけど、Zoomのエリック・ユアン最高経営責任者、いわゆるCEOですね、ホームページ上で自社システムの不備を認めて謝罪した。プライバシーとセキュリティーの期待に応えられなかった。具体的には、アメリカの例ですが、3月30日、学校のオンライン授業に不審者がアクセスをして、教師の自宅住所を叫んだり、porno画像を表示させたりといった妨害が相次いでいると警告した。この件をちょっと私お願いしよんですよ。

だから、セキュリティーに問題があるソフトを使うのであれば、こういうふうにやりましょうという、そういう議論をする場がなぜないんですかということをお尋ねしてるんです。

**○大岩教育振興課長** そのセキュリティーのことは私も新聞で見ました。学校の教員がZoomを使う場合、ホストとして、この時間に生徒さんにこういったところにこの時間で開きますということで、生徒さんに、パスワードというんですか、それを与えていると思うんですけど、それが一般に漏れてほかの方が入ってきたんだということなんですけど、学校の教員で使っている先生にお聞きしたら、その入ってくるパスワードというんですか、それさえしっかりしていれば、ほかの人は入ってこれないということで、その辺の情報管理は徹底はできるのかなとは考えております。

**○立川委員** いや、そういったことじゃなくて、そういう安全性を担保するためにどうする方法を使うのか。おっしゃったようにコードは必ずしなさいと。じゃなくて、そういうことについての対応をどこでやるのか、情報部に振られるんですか、下請へ出されるんですか、それとも教育委員会でしっかり担保したお話をされるんですか。これではあかんから、LINEを使いましょうとか、Skypeを使いましょうとか、そういった具体的なお話も私、計画で見たかったんですけど。電気屋さんの見積もりみたいな、ここがアクセスポイントがこうです、こうです、ああです、タブレットが200台はこうです、大変残念に思いました。

だから、機器を整備した、いろんなものを整備した、それで終わりという影を非常に感じるんです。じゃなくて、先ほど部長がおっしゃったように、皆さん子供たちのためにというのを忘れないように、ぜひともお願いしたいなというところですよ。

だから、これももう一度、申しわけないですが、数字だけなんですけど、例えば異常値が出ているところの数字、今一番頭に。備前中学校2年B組14.4とってあるんですけど、例えば特異な数字が出ているところ、低いところ、原因だけでもお知らせいただけたらと思うんですけど、その点はいかがでしょうか。お忙しいのに申しわけないんですけど。

**○大岩教育振興課長** 学校のほうに直接、その低いところの理由はお聞きしておりますので、また後ほど答弁させていただきたいと思っております。

**○立川委員** 低いところじゃなくて、異常値の出ているところの原因と、それに対する対応策ということ。対応しましょうよ。これだけしました、これ出しましたで終わりませんよ。お願いですから、そのデータとかいろんなものを子供たちにフィードバックできるように。私のところは

これ出したから、これで終わりですわは、ちょっと勘弁してほしいなと強く思いますが、資料のほうは後ほどで結構です。高いところ、低いところ、いわゆる異常値が出ているところについては、やはり原因分析と対処方法をお知らせいただけたらなと思いますが、いかがでしょうか。

○中西委員長 審議中途ですが、暫時休憩いたします。

午前10時37分 休憩

午前10時54分 再開

○中西委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○大岩教育振興課長 先ほどタブレットの使用頻度のところの異常値ということで立川委員から御質問いただいたんですけども、少ないところの原因というんですか、それは電話で聞き取った結果は、やはり学習支援ソフトであるスカイメニュー自体を使ってないということで、それはカウントの中に入ってこないんですけども、例えば体育の授業中に動画を撮って見せ合ったり、写真撮って見せ合うということで、サーバー経由でないところで使っているということで、そのクラスが少ないであるというような感じでお答えさせていただきます。

それとあと一点、GIGAスクール構想のロードマップということで、こちらは今お手元にお配りさせていただいたんですけど、案の段階で決定ではないんですけども、こういった感じでソフトの選定であるとか研修内容あるいは調査ということで、今のところ案として考えております。

○立川委員 ありがとうございます。今ちょっとお話をしたんですが、あるんなら何で出てこなかったのかなと。案ですと。もう予算も上げているのに、今ごろ案です。勘弁してほしいなと思います。スピード感を持って。

だから、一応これ決定したものと仮定して理解しておいたらいいんでしょうか。

○大岩教育振興課長 決定ではなくて、あくまで今の段階では案ということで御了承いただきたいとは思いますが。

○立川委員 じゃあ、この案が取れるのはいつごろなんでしょうか。部長が判を押さないんですか。教育長が押さないんですか。いつごろでしょうか。

○岩井学校教育課長 今ここに示されているロードマップの案については、今後校長を初め先生方とも話し合っただけ進めていかなければ、GIGAスクール構想というものが成り立ちません。したがって、早急には思っていますが、GIGAスクール構想は非常に大きな計画ですので、非常に丁寧に進めていかなければいけないと考えていますので、いつごろということは断言することができません。済みません。

○立川委員 丁寧に進めていただくということで、大変ありがたいなと思います。ただし、これはコロナ対策の一環として国が進めているもので、コロナの第2波、第3波が残念ながら発生したけど、まだこれできていないんですってというようなことだけはないように、その辺も踏まえて検討いただけたらと思います。

○岩井学校教育課長 コロナ対応の部分も含まれるんですが、GIGAスクール構想というのは、もっとその先に待っているものがたくさんありますので、まずは当然、委員おっしゃられるとおり、第2波、第3波に向けた取り組み、そこを最優先させつつも、最終的に個別最適化であったり、創造性を育む教育というところに持っていかなければならない。そのためも、先ほども言わせてもらいましたが、学校と丁寧に協議の上、進めていく必要があるということをお理解いただけたらと思っています。

○立川委員 丁寧に丁寧に進めいただくことは大変理解はしております。ただ、やっぱり事業というのは期限もございますので、その点も踏まえてお願いしたいなと思います。

ここでちょっと委員長、提案なんですけど、今こうやってロードマップも出てくるんですけど、どうでしょう。今回予算も出ておりますように、GIGAスクール構想について、やっぱり機器の整備だけじゃなくて、こういったソフト面の整備も必要だろうなと思いますので、ぜひとも意見書的なもので、委員会にも報告しなさいというふうな意見は出せないものでしょうか。

○中西委員長 暫時休憩します。

午前10時59分 休憩

午前11時01分 再開

○中西委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

立川委員からそのような御提案がされていますけれども、皆さんいかがでしょうか。

○青山委員 その発案の趣旨というんですか、もう一度説明していただけます。

○立川委員 今回予算でも3億6,600万円上がっておりますGIGAスクール構想ということで、初期投資の機器、それから校内LANの設備の資金も上がっております。ただ、お話をお聞きすればするほど、どういう進め方をするのか、それに対して、大変失礼なお話なんですけど、各学校、子供たちについて、こういったロードマップでこういう進め方をするんですよ、こういう運用方法をするんですよというのがよく見えないので、そういう報告をいただけたらと。有効に活用できるのかどうかということら辺を見きわめたいので、委員会として、例えば中間報告であつたりいろんなものを求めていけたらなという思いでございます。

○中西委員長 委員会としては、中間でも報告は求められますので、あるいは委員の皆さんからおっしゃっていただければ、この議題にすることはできると思います。取り立てて議決を上げなくても、それは可能かというふうには思います。

○青山委員 私も今まで、2年間しか経験ありませんけど、その中で委員長を通してそういう要望もされていますので、それでいいんじゃないかと思うんですが。

○森本委員 私のほうも、随時報告を受けましたし、その都度していけばいいことで、後々もしそのようなはっきりとしたお答えが出なかつたり不審な点が出てきたときに、意見書なりを考えたらいいいことであつて、今の段階ではちょっといいかなとは思っています。

○星野委員 意見書なるものの案文とかがあつてあるんですか。どうしてほしいというのがいまいち

わからないので。

○立川委員 一応案文としては、G I G Aスクール構想事業に係る予算その他の執行に際しては、情報機器等の整備にとどまらず、その効果を最大限に引き出すため、レクチャー等の仕組みも整備し、全力を挙げて取り組むこと。加えて、必ず議会に経過報告を行うこと、この点かなとは考えておりました。

○星野委員 内容はわかったんですけど、委員長からこういうG I G Aスクール構想の進捗状況等については随時報告していただきたいと教育委員会に言っていただけじゃいいんじゃないかと思います。

○中西委員長 あと、私のほうから申し添えますと、予算の執行に関してはということについては、予算委員会の所管になるかと思うんです。そうなれば、予算委員会での附帯決議あるいはその意見書というようになるところになるかなと。ここの委員会には議案と予算が出ていませんので、その使い方についてまでは、なかなかここでは審議ができないんじゃないかなと思います。できれば、随時報告を求めるということでよろしいでしょうか。

○立川委員 いいです。

○中西委員長 済いません、御理解をいただけたらと思います。

○藪内委員 予算も絡むかもわからないんですが、先ほどのG I G Aスクール構想、来年4月からの予定ということなんですが、今現在、まだコロナ禍で問題がいろいろ出てきています。そして、今盛んに言われているのが、第2波、第3波、特に東京等ではまた数がふえてきて、交流がふえるとどのような状況になるかわからないと思うんですね。

ですから、せっかく機器があるんで、新しいやつで来年4月からというのは、それはもちろんなんですが、現在ある機器を使いながら、例えば4番にあるマイクセットであるとかルーターとかをそろえて、無駄になるかもわかりませんが、即使えるものをと。教育なんで無駄ということはないんで、そこら辺ちょっと考えていただけないでしょうか。

○大岩教育振興課長 G I G Aスクール構想の整備事業の中の一番下に、W i - F i ルーターを1万円で、補助金で2分の1で貸し出す事業があるんですけども、こちらは通信費が込みではありません。備前市といたしましては、通信費を込みでW i - F i ルーターをレンタルすることで、予算が通って、コロナの第2波が近づいてくるといときには、家庭学習でW i - F i 環境がない子供、特に中学校3年生と小学校6年生には指定させていただいているんですけど、こちらのほうで対応するということでは考えております。

ただ、これは9カ月見込んでおりますので、例えばコロナが6カ月とか5カ月になってくれば、W i - F i ルーターの1人当たりの月額がふえてきます。現在W i - F i 環境にない生徒さんが120人ぐらいおられるんで、月数が短くなればそちらのほうもカバーできるというような考えではあります。

○青山委員 関連するんですが、先日の一般質問でもルーターを貸し出すというふうな措置も考

えていただいているということで、機器については、今後必要なものは補正なり上げてやっていただければいいと思うんですが、私はこのタブレットの使用状況を見ていて、やはり教員のほうの使用する能力というんですか、そういったところの人材育成がかなり必要になるのかなと思っております。

専門の支援員あるいは使える教員が、クラスや学年を越えて横串で指導もしながら、学校全体が使えるように持っていくというふうなことを言われたんですが、教員の人材育成でもう少し具体的に、今始められているようなことがあったらお聞かせ願いたいんですが。

**○岩井学校教育課長** 教員の研修というか、使えるような人材育成というところなんですが、今実際に4月に行ったZ o o mと、それからロイロノート等の提案を学校のほうにさせてもらっています。その後の状況なんですが、その研修に出ておった者、または今のところでは言えば得意なほうの教員が校内で実際に使ってみるという形で、各校において研修を行っています。

例えば、この間伊里中学校の生徒総会については新聞報道等でごらんになられたかとは思いますが、それ以外にも毎週月曜日の生徒朝礼で、校長室と各教室をZ o o mで結んで双方向でやりとりをするであったり、職員間の朝礼、晩礼があるんですが、そういう連絡事項にロイロノートを活用していたりしています。また、校内研修でなかなか校内にそこまで詳しい者がいないという状況であれば、他校の教員がZ o o mで校内研修に参加するなどを行っています。

教育委員会主導で研修を打っていく方法も一つではあるんですが、やはり実際に使う教員がふだんの仕事の中で使っていくということが一番の広がりを見せる方法だと考えています。そういう横の展開というところを重視して、今後も続けていきたいと考えています。

**○青山委員** ぜひ、実際に使いながら、使えなくて失敗したりもあると思うんですけど、職員朝礼とか、そういうどうしても使わなければいけないような場面をつくって、その中でお互いが教え合っような場面をたくさんつくっていただきたいと思います。教育委員会のほうから、ぜひそういうふうなことを各校にしっかりと御指導いただけたらと思います。

**○岩井学校教育課長** 実際にこういう形で使っていますっていうところを、やはり各校へ知らせていくことによって、ああ、こんな使い方もできるんだというところがやっぱり発見されていくと思います。今のこの第2波、第3波に備えたものもそうですし、その後のG I G Aスクール構想の実現というところについても、やはりその手段というのはすごく重要な部分だと考えておりますので、委員会としてもそういう情報発信であったり、こういうことができるんじゃないかという提案を、校長会や先生方とよく相談をしながら進めていきたいと考えております。

**○西上副委員長** 先日の青山委員の一般質問で、支援員さんは4人いらっしゃるということだったんですけども、先日、ベネッセの求人の中で、教材作成、パソコン授業の準備、先生向けの講習会ということで、タウンワークの中で求人をされておりました。この備前市は今4人おられるということですが、あと何人必要でしょうか。

**○大岩教育振興課長** 何人必要かまでは言えないんですけど、今各校に月に2回訪問指導という

んですか、先生たちの質問とか、ここはどうしたらいいのかということで回っていただいております。先生のほうも、そういったときにはいろいろ相談されてはおります。

ただ、今回のGIGAスクール構想の中で、確かにICTで各市町村のほうも支援員をたくさん今後導入されていかれると思うので、人材不足が必ず起こるとは考えております。ただ、そういった中でも、ICT支援員だけでなく、ICTが得意な先生方にもお手伝い願いながら、校内では運用はさせていただきたいと。ただ、ICT支援員につきましては、今後増員のほうで検討していく機会ではないかなとは考えております。

**○西上副委員長** 現在の4人の支援員さんが今までやられた、実際の事例ではどういった事例がありますか。

**○大岩教育振興課長** 多岐にわたるんですけども、授業のときに使うソフトの使い方であるとか、学校内のホームページを変えることであるとか、先生方が使用時に困ること、こういったことをしたいんだけど、それをするにはどうしたらいいのかというおのこの質問に答えながら、そこで設定とかやり方を教えていただいております。

**○西上副委員長** 先ほどお示ししてくれましたGIGAスクール構想のロードマップですけど、このロードマップの中で、その支援員さんはどうかかわっていくのか、ちょっと簡単に教えてください。

**○大岩教育振興課長** このロードマップの中には、支援員さんは含まれておりません。

**○西上副委員長** それじゃあ、含まれるやつをまた後日出していただければ助かります。お願いします。

**○大岩教育振興課長** 含まれるといいますのが、今の契約の中で、今年度もその4人で月2回ということで契約させていただいております。それが各校月に2回ということで、人件費と交通費の予算を組まさせていただいておりますので、そちらについては特にロードマップというのはないんですけども、その学校訪問時に先生方から質問にお答えして、答えていくやり方、操作方を教えていただくということで今までの段階ではやっておりますので、ロードマップ自体はございません。

**○星野委員** 先ほど藪内委員も質問されていましたがGIGAスクール構想における整備事業の概要の学習用タブレット等整備事業の(4)ですね、遠隔授業用機器、マイク64セット、タブレット固定三脚48脚なんですけど、コロナ禍においてもですが、オンライン授業をするに当たってこれは必要な備品だと思うんですけど、こちらだけ先に納入してもらおうという考えはないんでしょうか。

**○大岩教育振興課長** 国のほうでは、できるところから着手して下さってもいいとは通達が出ております。今予算をここで計上させていただいておりますけど、こちらが財産取得の議決をいただかないといけないような金額でございますので、そういったことも勘案しながら、できるだけ早い発注のほうは、できるところからはしていきたいとは思っております。



○**星野委員** 次に、GIGAスクールとタブレットから少しだけ離れるかもしれないんですが、コロナ禍で授業時間を確保することが優先になってきていると思うんですが、プログラミング教育で、当初予算でレゴブロックを購入されていると思いますが、こちらについての進捗状況などがあればお教えください。

○**大岩教育振興課長** 現在入札の段取りをしているところです。

○**星野委員** いつごろ納入されて、使えるようになる予定なんですか。

○**大岩教育振興課長** 入札いたしまして業者が決まりましたら、すぐにでも学校のほうには配分させていただくことは考えております。

○**星野委員** 今のところ時期はいつごろを予定しているんですか。

○**大岩教育振興課長** 入札の日付までは覚えてないんですけども、早急に発注はかけたいと思います。

○**西上副委員長** 川崎議員が伊里小学校プール改修について一般質問されましたけども、通常、プール改修設計図が作成され、そして見積依頼が来たところで、その関係ある全ての業者を御紹介されるという流れが通常ではないかなというお話でしたけれども、なぜこの一番最初の時点で特定の業者を名刺を渡して紹介されたのか、いま一度御説明いただきたいと思います。

○**大岩教育振興課長** 一般質問でもお答えしたとおり、前年度に伊部小学校のプールをFRP工法でやっておりますので、国内業者がヤマハと積水製品がある、その2社が主な業者なんですけども、そちらのほうも参考にとということで、よろしく頼むとかというようなあいつた言葉では言っておりません。去年しておりますので、わからないことがあったら参考にお聞きくださいということで名刺を渡しとるだけで、それはFRP業者だけでなく、ろ過器メーカーの名刺もお渡ししておりますので、特にプールのFRPの業者だけに対してやったことではございません。

○**青山委員** 備前市の夜間学び直し事業についてちょっとお聞きしたいんですが、たしか昨年度は8名か9名で、そのうち日本人の方が1名だったと思いますが、昨年度やられた実績、それからそれによって出た課題というものはどういったことがありますでしょうか。

○**竹林社会教育課長** 学び直し事業につきましては、昨年、日本人の方1名、それから外国人の方11名に登録いただいて実施させていただきました。今年度当初予算で措置いただいておりますので、早目に開始はしたかったんですけども、コロナの影響ということで、現在のところ9月ぐらいから開始できればと考えております。その中で、課題といいますか、日本人の方の需要の掘り起こしということで、いろいろ関係機関等にも今後もPRをしていけたらと思っております。

○**青山委員** 日本人の方が1名ということで、何か参加しづらいハードルがあるのか、そういったようなことについてはどう捉えられていますか。

○**竹林社会教育課長** 昨年度からの事業ということで、なかなか広く行き渡らなかった部分もあるかと思うんですけども、県内でも岡山県さん、それからほかの2つの自治体さんが同様の事業をやりまして、PR等も県を中心になってやっていただいておりますので、その辺でそういった方

の需要の掘り起こしができればと思っております。

○**青山委員** 事業の内容も、その方がやりたいことを相談しながらやっておられるということなんですが、内容的に難しくとか、あるいは募集段階でイメージとして何かレベルが高いんじゃないとか、そういったような違和感があって応募をためらっているとかがいわれるようなことはないですか。

○**竹林社会教育課長** そういった問い合わせ、相談等を受けましたら、事前にカウンセリング等もさせていただいて、支援者の方にもお伝えしたりということで、相談しながらやっておりますので、その辺は対応できているんじゃないかと考えております。

○**青山委員** 中学校の未卒業者の方でも、高校進学ができるというふうなことをチラシには書かれているんですが、その辺の中学校卒業資格を未卒業者の方が取るためには、いろんな教科のカリキュラムをとらなければいけないとか、何か条件があるんでしょうか。

○**竹林社会教育課長** そこまでの資格取得は、今のところこの事業では考えていないです。

○**青山委員** いや、チラシには、中学校を卒業されていない方でも、自分のペースで自分の学びたい内容を学習し、高校進学も目標にできますと書いているんですけど。

○**奥田教育長** その表現はこういうことだと思います。中学校を形式的に卒業された方ということで、実情は中学校の3年間か2年間か不登校で、ほとんど学校に通っておられないという方で、夜間中学校で中学校の学習を進めていけますよと。形式卒業者という定義だと思います。

○**青山委員** 案内のチラシでは、中学校未卒業の方、それから中学校形式卒業者の方、それから外国人の方とあって、中学校形式卒業者というのはわかるんですが、中学校未卒業の方も高校進学を目標にできますということなので、中学校卒業という資格がここで取ることができるんでしょうか。

○**奥田教育長** この夜間中学校というのは、学校教育法でいう学校ではないので、中学校の教育課程を全て実施できるような学校ではありません。中学校卒業の資格というんか、一応卒業資格というのは、この夜間中学校で学んだだけではできないと思います。

○**中西委員長** だから、青山委員の言われるのは、そこに書いてあることがもし違っているとすれば、直さなければいけないと。

○**青山委員** そうです。

○**中西委員長** 暫時休憩。

午前11時29分 休憩

午前11時30分 再開

○**中西委員長** 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○**奥田教育長** 申しわけありません。今読ませていただくと、ここでの中学校未卒業の方とは、戦中戦後の混乱の中で中学校を卒業されていない方、戦争中に行くに行けなかった、ばたばたと日が過ぎてしまっていて卒業できていないという方で、これは私たちのこの事業では学び直しとい

う形で、自分たちは学校へ行きたくても、戦中戦後のどさくさで勉強できていないんだと、もう一回中学校の勉強をやりたいんだという方はどうぞ来てくださいという意味です。

ここで来たからといって、卒業認定するわけではなくて、その後に書いてありますが、自分のペースで自分の学びたい内容を学習します。高校進学も目標にできますということで、ここで勉強して、中学校程度の学力があるという認定を受ければ、高校の進学も目指せますという意味です。申しわけありません。

○青山委員 説明もなかなか難しいとは思いますが、ちょっとその辺の説明を加えていただけたらと思うんです。よろしくお願いします。

○奥田教育長 問い合わせがあったら必ず面談をしますので、面談のときに誤解のないようにお伝えできたらと思います。

○星野委員 コロナの影響でストップしている事業についての今後の対応をお教えいただきたいんですが、まずは、まなび塾の開始はいつごろを想定されているのでしょうか。

○竹林社会教育課長 まなび塾につきましては、今は開始を延期させていただいておりますが、夏休み開始後に実施ということで、今再度募集もかけさせていただいたり、準備を進めております。

○星野委員 もう既に申し込みをされている方に対しての、夏休みごろまで延期しますという案内とかは出されているのでしょうか。

○竹林社会教育課長 学校を通じて、案内はさせていただいております。

○星野委員 次に、学校体育施設開放事業について学校と利用者団体との調整が必要であることから、当面の間、休止期間の継続というふうに決定したのが5月26日に決定したという政務報告がありました。それから約3週間、4週間近く経過しているわけですが、今後の方針というものはある程度決まったのでしょうか。

○竹林社会教育課長 学校の施設の開放につきましては、学校のほうが利用について、後の消毒関係というのをかなり気にされておまして、その辺の対策や、うちのほうでもマニュアル等も作成させていただいたりしまして、今後校長会で依頼と、あと利用者団体さんへの説明会を経まして、7月をめどにやっていけたらと考えております。

○星野委員 次に、4月か5月の委員会だったと思うんですが、夏休み授業における登下校の対応ですね、特にエアコンがきいた教室から炎天下を徒歩で帰る児童への対応はどのようにするのかとお聞きしたと思うんですが、そのあたりの対応は検討されたのでしょうか。

○奥田教育長 今でもかなり気温が高くなって、学校現場ではコロナ対策とともに熱中症対策に力を入れております。水分補給であるとか、直射日光に当たる時間を極力減らすとか、いろんなことをしております。

夏休み中というか、それまでに暑さにも大分なれてくるということも予想されますが、登下校の対策としては、今ある学校では、傘を差して登下校してもいいということをやっておられる学

校があります。この間もテレビで実験なんかやっていたんですが、傘を差すと直射日光を遮るといことで、かなり顔の周りの温度が下がると。それと、ソーシャルディスタンスじゃないんですけど、傘を差すと距離がとれるといういろいろな利点があるといことで、試しにやっている学校もあるようです。

もう一つが、登下校については、距離をとるといことで、マスクを外してもいいといようなこともしております。

それぞれの学校でいろいろな形の工夫をされていますので、熱中症予防といことで、教育委員会としても情報提供しながら進めていきたいと思ひます。

**○星野委員** 3時間か4時間か授業をしての下校時で、おなかがすいた中、炎天下を歩いて帰らないといけないわけですが、例えば同じ方向に向かうバスに下校だけ乗せてもらえるようにするとか。昨年とかですと、プール学習に自転車登校が許可されていたと思ひんですが、そういう自転車登校を許可するなどの検討などはなされたんでしょうか。

**○奥田教育長** 自転車での登校といことは、協議しておりません。といのは、多分、授業日にふだんと違う自転車通学をしていて事故に遭ったら、保険の対象にはならないと思ひます。そういうこともあって、ふだんと違う方法での登下校はちょっと考えていかなければいけないなどは思ひます。

**○星野委員** バスへの便乗といのは検討されてないでしょうか。

**○奥田教育長** それもしておりませんが、バスへの便乗になるともう密集状態をあえてつくるといことになりますし、現在どれくらい密集状態なのかといのを十分把握しておりませんので、その辺担当と話をして、ほかの子がバスに乗ることで、より密集状態をつくるようでは逆効果になりますので、その辺も含めて考えていきたいと思ひます。

**○星野委員** よろしくお願ひします。

**○青山委員** 熱中症対策の関連なんですが、伊里小学校は「すべては子供たちのために」学校応援事業で、大型扇風機3台とミストシャワーを2台購入したとあるんですが、他校ではそういった対策はできているんでしょうか。

**○大岩教育振興課長** エアコンの使用といことで、学校の判断でもう常時、学校の例えば生徒さんの体育の後であるとか、温度に関係なく、あと湿度とかも考えながら、窓を双方向あけて使ってくださいといことで通達はしております。エアコンはもう学校長の判断でできるといことと、あと国の補正の詳細が来週中に来るんですけども、その中で校長、学校の判断で、小規模校でしたら100万円といような補助金がコロナ対策の補助金としてつくといことで通達が来ております。そういった中でコロナ対策の消毒液であるとか、コロナ対策の備品関係で使えるものがあれば、そういったところに使っていただくといことでは考えております。

ただ、今はその予算を消耗品とかでありますと先取りして、学校で必要なものであれば使っていただいて結構ですと、足りなくなるようなことになれば、補正予算としてまた配分しますとい

うことではお話はさせていただいております。

○**青山委員** 扇風機とかミストシャワーということになると、体育館での体育の授業あるいは集会、それからミストシャワーなんかはグラウンドで体育の授業をした後、入るときに浴びるとか、そういう対策になると思うんですけど、どういうことができているかということも一度調査いただいて、適切な方法を御指導いただきたいなと思います。

それから、これは提案なんですけど、休憩時間が終わって教室へ入ったときに、水分補給をするような時間をとっていただくとか、下校の前に水分補給をする時間をとって、子供たちに水分をとるように指導をしていただけたらと。休憩時間なんかは遊び回って汗をかいて入ってくると思うんですけど、その後、45分なりの授業をやると、その間水分補給ができない状況もあると思うので、そういう途中途中で水分補給をするような指導もしていただけたらと思うんですけど、いかがでしょうか。

○**岩井学校教育課長** ありがとうございます。休憩後の水分補給等の指示というのは、当然また校長会等で声をかけていきたいと思っておりますし、今現在、ちょっと学校を回っている中で、比較的目にする光景で、やはり担任の先生もすごく気にされていて、このタイミングで水分をとりなさいよというような体育の授業を見たりしておりますので、また各学校にも話をしていきたいなと考えております。

○**星野委員** 保育士の確保についてなんですけど、今コロナの影響で大学の授業料が払えないとか、バイトが減って生活が大変だという方がふえているという報道がかなりされていますが、補正で奨学金の制度の緩和というものも予算通過したんですけど、保育士に特化した奨学金制度は考えられないのでしょうか。

○**波多野幼児教育課長** 現在は教育部の中では、社会教育課で出しております奨学金、備前市内の大学生であれば5万円、高校生であれば2、3年2万円の中で対応できているのではないかと考えております。それ以外は、各大学の独自制度によって、もし苦勞されている大学生でありましたら、そちらのほうで救っていただいているものと考えております。

○**星野委員** 備前市に医師と看護師、理学療法士と薬剤師は市立病院等へ数年勤務することで返済を免除してくれるという奨学金があると思うんですけど、こういう制度を創設したら、もう少し保育士を確保しやすくなるんじゃないかと思うんですけど、そういう考えはないですかね。

○**波多野幼児教育課長** 病院の職員につきましても、保育士同様、不可欠な職員であろうと思っておりますし、その一つの確保制度として院内保育の無償化というのも貢献しているのではないかと思います。保育士につきましても、就職して何年というような制度につきましても、市外の保育士にとって有効ではなかろうかと考えられますので、これから確保策についても研究していきたいと思っております。

○**中西委員長** ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で厚生文教委員会を閉会いたします。  
皆さん、どうも御苦労さまでした。

午前11時45分 閉会